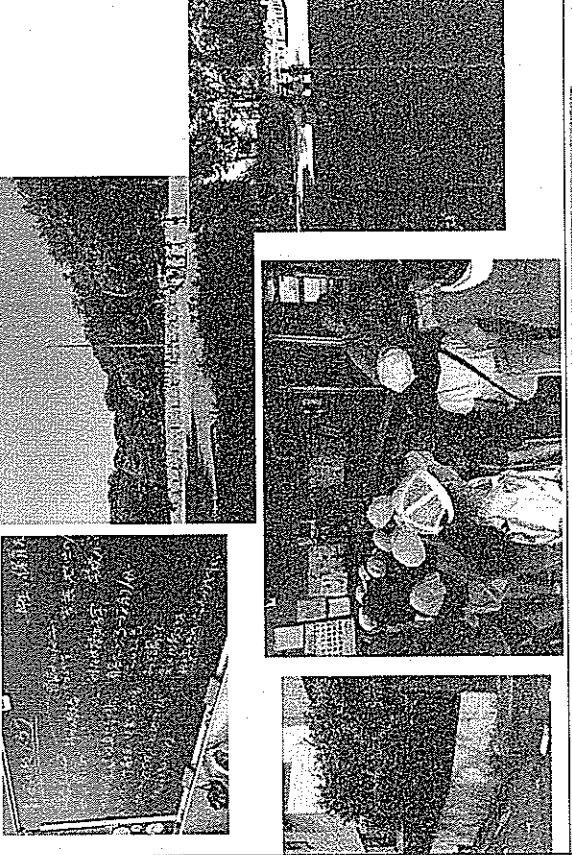
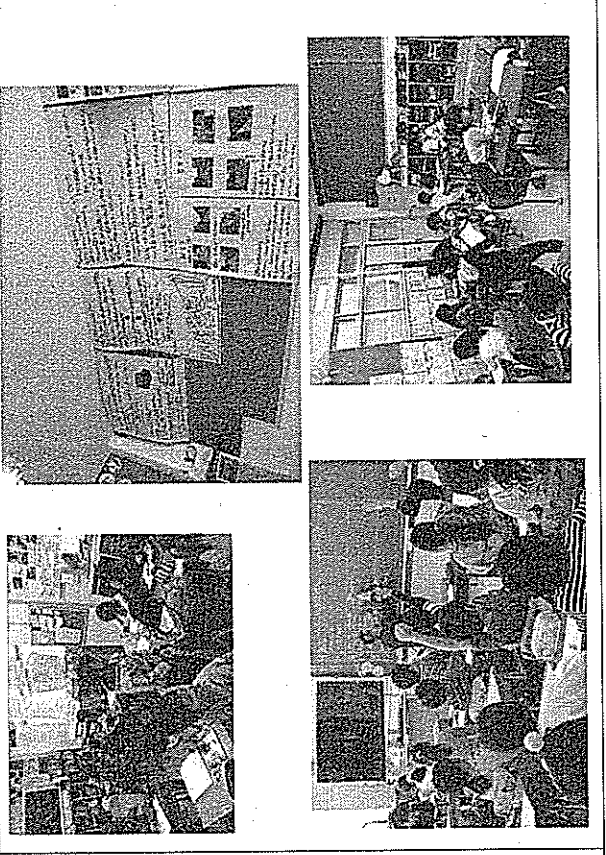


① 事業実施報告書詳細

横浜市立権太坂小学校

時間数	場所	概要	活動記録	子どもの反応
15	まち教室	<p>まちのよさを発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 権太坂のまちを探索して、権太坂のよさを見つけた。</li> <li>・ 学校の通学路のコースや商店街に行き、お店やお店の人にインタビューをして情報を集めた。</li> <li>・ 自分のお気に入りの場所や魅力的な人についても情報を集め、カードにまとめた。</li> <li>・ 権太坂のまちのよさが何かを、クラスで話し合った。</li> </ul>		<p>○自分たちのまちを探索すると、カードに気付いたことを中心に記入してきた。遊んで楽しい所、景色がきれいな所、お勤めのお店、お勤めのメモを載せている子どももたくさんいた。</p> <p>○何度もまちを探索したり、お店を調べたりすると、少しずつまちについて詳しくなり、子どもたち同士に会話の中にも、「次はここに行きたいな」「お店の人にインタビューしたい」など調べ活動に意欲的になっていた。</p> <p>○2年生の時よりも権太坂のまちを好きになっただけじゃなかった。</p> <p>○インタビューの聞き方を指導していくと相手との会話が広がっていき、日常のコミュニケーション能力も同時に上がっていた。</p>
35	教室	<p>権太坂のまちのよさが伝わるようなるたを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちのよさを「人が温かい」とし、かるたの言葉を考えた。</li> <li>・ 言葉を考え、俳句のように、5, 7, 5のリズムになるようにした。</li> <li>・ 言葉を決めるときには、理由も伝え、クラスで一つずつ文章を選んでいった。</li> </ul> <p>友達と協力して文章を作ることができるように役割を決めて活動した。</p>		<p>○クラスで、まちのよさを伝えるかるたを作ることを確認して、自分のおすすめの場所や人についてかるたを作った。</p> <p>○5・7・5のようにリズムがよい文章が読み札としてふさわしく、さらにまちのよさが伝わる分にすることを話し合った。</p> <p>○まちのよさは「人が温かい」という意見が多く、子どもたちはまちの人にインタビューすることを通して権太坂のまちの魅力は人であり、「そんな気持ちの温かい人がいるから、まちは魅力的なんだ。」と再確認することができた。</p> <p>○かるたを作ることにより約4ヶ月かけて文章や絵をかいてきた。とても思い入れがあるかるたに仕上がりましたが、たくさんの人にかるたをやってもらいたい、まちのよさを感じてもらいたいという思いをもつことができた。</p>

権太坂かるたを広めよう  
 ・作ったかるたを他のクラスの人に体験してもらおう。  
 ・ゴングスタで、かるたを体験してもらおう。同時にかるたについてのアンケートも、「やり方」「まちのよさ」について幅広く意見を集めた。  
 ・もっと権太坂のよさを知ってもらうために、イベントを開き、前項の人が体験できる日を決めて実施した。



○授業参観やゴングスタなどでたくさんの人にかるたを体験してもらった。より良い体験になるように、運営の方法は子どもたちが考え、練習を重ねていった。  
 ○お客さんに伝わりやすい声の大きさや話し方、より楽しむために自分たちが笑顔でいることなど、運営する立場の人はどうするべきなのかを真剣に考えている姿があり、相手意識が高まっていることがわかった。  
 ○体験をしていくと、まちのよさが伝わっているのかと疑問に思う子どもも出てきたが、クラスの話合いでは、お客さんが笑顔になっていることを取り上げ、笑顔になっている人を見ると、自分たちまで楽しい気持ちになることを子どもたちと確認した。子どもたちは笑顔になっているかということも、まちのよさが伝わっていることなどだ。と実感することができた。  
 ○かるとのイベントを重ねることで、人前で話すことを苦手としていた子どもどもも、少しずつ積極的に声を出すことができるようになってきた。係や役割をもたせることで責任が生まれ、しっかりと活動することができるようになってきた。  
 ○かるとの作りを通して、まちのよさを知り、相手意識をもった行動をすることができるようになった。

## 単元名「はい！見つけた！権太坂かるたとまちのよさ」

第3学年3組 岡野拓朗 児童数31名

### 1. 単元構想

#### (1) 児童の実態

本学級の児童は、学習課題に真剣に取り組み、意欲的に取り組む児童が多い。比較的自分の考えをもち、発言する児童もいるが、一方で考えはあるがなかなか自分の考えや思いを伝えきれないでいる子どもや日本語を学習中の子どももいる。特にコミュニケーション能力が足りない子どもがいるので、教師としては、クラスで一つのことに挑戦させながら、自分の思いを伝えられるようにしたいと考える。

また、クラスが変わり新しい人間関係作りがあるなか鬼ごっこなど遊びを通して仲良くなりつつある状態である。やはり遊びを通すことでコミュニケーションをとることができているので、何か遊びをツールにした活動を入れること、みんなで一つのものを作っていき経験を重ねることで、お互いの良さにも気付かせていきたい。

#### (2) 単元や単元の立ち上げについて

子どもたちは、生活科の学習経験から、権太坂のまちについての情報をたくさん知っていて、自分が調べたことをたくさん伝え合っている姿があった。何度もまちたんけんを経験して、まちにあるお店や場所について詳しくなっていることがわかった。やはり、自分が調べたことには自信をもって表現できる児童が多いことがわかる。一方で意見はあるが、なかなか自分の思いを伝えきれない子や日本語を学習中の児童には、自分の課題をもち、調べていくことを経験させて自信をつけさせていきたい。そこで、「権太坂のまち」の良さを見つけながら「かるた」作りに発展させたい。そこで、社会の「たんけん、発見、わたしたちのまち」の学習と関連させて、権太坂のまちのよさを調べ、追究したくさんの人に権太坂のまちのよさを伝えていきたいと考える。また、「かるた」は昔からの遊びの一つであり、子どもたちも一度は経験していると考え。その「かるた」を使って一年生や他学年の人とかるたで遊んだり、大会などを計画したりすることを通して自分たちで企画・運営していく姿も目指したい。

最終的には権太坂小学校の40周年を記念して、「権太坂かるた」を作り、学校の人や地域の人と一緒に遊ぶことを通してたくさんの人と関わりたいと考える。その単元の皮切りに、ご当地かるたを教室に準備し、遊びを通してかるたの内容に気付き、権太坂のまちを題材にした「権太坂かるた」を作っていきたい。権太坂のまちについての情報を収集する時には、できる限り人と出合わせ、その人の思いも知ることができるようにすることで、子どもたちの「権太坂かるた」のデザインや文章作りに役立てたい。まちたんけんをスタートにして、権太坂のまちを知り、人と出会い、思いを知ることで権太坂のまちをもっと好きになり、まちや人を大切に作る気持ちも同時に育てたい。

#### (3) 材の価値

材の価値については、3つあると考える。

まず1つ目は、かるたというものの特徴を知り、かるた遊びを通してたくさんの人とかかわることができること。かるたは、大人も子どもも一緒になって遊びながら学べるよさがあり、ルールも明

確なので多くの人と主体的にかかわり、さらに絵札や読み札から地域の魅力を改めて知ることができる。そして、自分たちの身近な地域を知り、愛着をもつことができると考える。

2つ目は、かるた作りを通して、地域の人と出会えること。特に情報の収集のときには地域の人に権太坂に対する思いを話してもらおうようにしたり、自分たちから質問したりすることで、かるた作りの絵札や読み札を考える手立てにしていきたい。

3つ目は、かるた作りを通して絵札や読み札に表すための情報を集めたり、集めた情報をまとめたりすることを通して情報の整理分析の能力が育てられるということである。まとめ表現のためには、情報を取捨選択し、どのように伝えていくことがよいのか考える必要がある。そこで友達とかかわりながら一つのものを作り上げる経験を繰かえし行うことができると考える。

#### (4) 学習内容

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
かるたの特徴とかるたをつくることを通して実感するまちのよさ、そしてまちの人と自分とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○権太坂のまちには、自然や社会的な特徴があり、そこで暮らす人も多様で、それぞれに魅力があることが分かる。</li> <li>○かるたは、簡単なルールで大人も子ども関係なく楽しむことができ、読み札、絵札から情報を得ることが分かる。</li> <li>○かるた大会のようなイベントを開くことは、自分とまちの人、学校の人同士など様々なつながりを生み出すことが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かるたについて調べたりまちの人と関わったりする中で、自分たちがやりたいことについての課題を見つけることができる。(課題の設定)</li> <li>○権太坂のまちのよさやかるたについて情報を収集したり、分かりやすく整理分析したりして必要な情報を取捨選択することができる。(情報の収集/整理分析)</li> <li>○かるたについて調べたり関わったりする中で、気付いたこと分かったことを内容や目的に合った方法で表現する。(まとめ表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分から進んで権太坂のまちや人とかかわり、権太坂のまちのよさをかるたに表現しようとする。(自分自身に関すること/主体性、社会参画)</li> <li>○かるたで遊ぶことやかるた大会を通して、多くの人とふれあうことのよさに気づき、権太坂のまちの人と進んでかかわっていかうとする。(他者や社会との関わりに関すること/他者理解)</li> </ul>

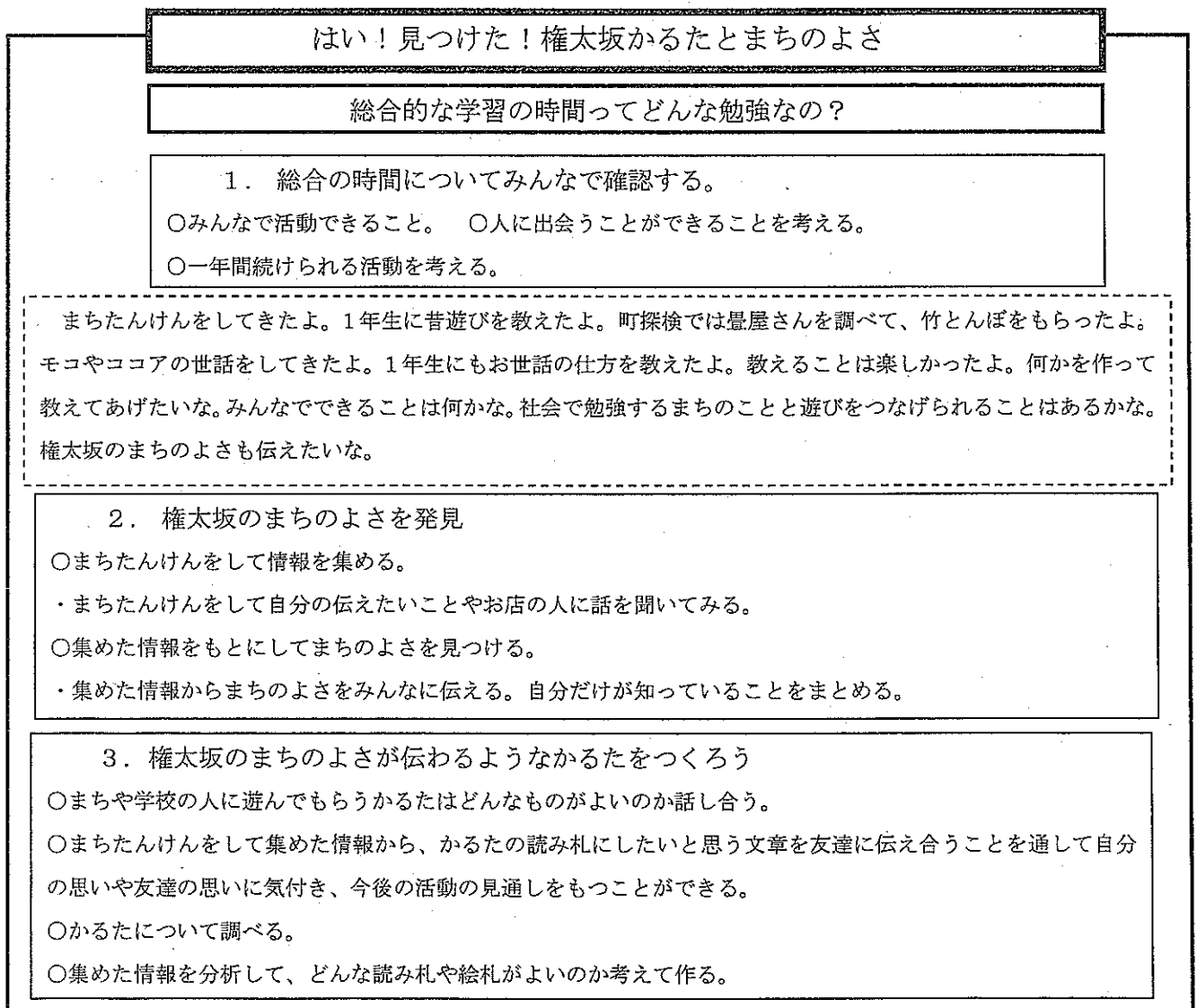
#### (5) 単元目標

権太坂のまちを題材にしたかるたを作って、遊ぶ活動を通して、かるたにはまちのことを端的に表現できることや権太坂のまちや人には、今まで気が付かなかったよさをもっとあることに気付くことができる。また、権太坂のまちや人や友だちと一緒にかるた遊びを楽しむ活動を通して、自分や友だち、権太坂のまちの人のよさに気づき、自分たちのまちを大切にしようとする態度を育てる。

(6) 関連する教科

教科	
国語 10h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事の報告をしたり、それを聞いて感想を述べたり質問したりする。</li> <li>・材料を集めて報告する文章を書く。</li> <li>・記録文や報告文、図鑑や辞典などを利用して調べる。</li> </ul>
社会 5h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが住んでいるまちや市の様子を的確に観察、調査したり、具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。</li> </ul>
道徳 2h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする意欲を育てる。</li> <li>・礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する態度を養う。</li> </ul>
図工 6h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が伝えたい権太坂のまちのよさが伝わるように絵札に表現するための方法を身につけ、実践する。</li> </ul>

(7) 単元構想図



- 権太坂小学校が40周年であることに気づき、40周年のことも伝える内容のかるたを作る。
- どんな絵札がよいのか、自分の思いが伝わるような絵札を作る。

まちたんけんをして、まちのよさを見つけたことをかるたに書いていこう。どんなことを書こうかな。どんな絵をかこうかな。読み札はこの文章にしよう。作ったものはみんなで試してみよう。誰かに試してみようよ。

#### 4. 権太坂かるたを広めよう

- 作ったかるたをゴンタフェスタで、みんなに試して広めよう。
- 体験してもらった人の感想を整理して、成果と課題を分析し、次の活動の見通しをもつ。
- もっとまちのよさが伝わる文章はどんなものか、絵札をもっと上手にかくためにはどうしたらよいのか考える。
- もっと権太坂かるたを広めるための方法を考える。
- かるたに親しんでもらうためのイベントを計画やかるた大会を開催する計画を立てる。
- かるた大会を開催するためのポスターや宣伝をする。
- かるた大会を開催する。(校内)
- かるた大会に来てくれた方の感想を整理して、成果と課題を分析し、次の活動の見通しをもつ。

(本時)

#### 5. 権太坂かるたを学校に送ろう

- 権太坂小学校が40周年を迎えた記念して権太坂小学校にかるたを送る。
- お世話になった方々や地域の方を招待してかるたやまちのよさを伝える。
- 学校やお世話になった人にかるたをプレゼントする。
- 一年の活動の振り返りをする。

## 2. 小単元の構想 (4. 権太坂かるたを広めよう)

### (1) 小単元で育てたい資質・能力

目標を実現するにふさわしい探究課題	知識及び技能		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
かるたの特徴とかるたをつくることを通して実感するまちのよさ、そしてまちの人と自分とのつながり	○かるた大会のようなイベントを開くことは、自分とまちの人、学校の人同士など様々なつながりを生み出すことが分かる。	○かるたについて調べたりまちの人と関わったりする中で、自分たちがやりたいことについての課題を見つけることができる。(課題の設定) ○まちのよさを広め、かるたを楽しんでもらうためにはどうしたらよいのか、情報を収集し、分かりやすく整理分析して自分たちの活動をよりよくすることができる。(情報の収集/整理分析)	○かるたで遊ぶことやかるた大会を通して、多くの人とふれあうことのよさに気づき、権太坂のまちの人や友達と進んでかわっていかうとする。(他者や社会との関わりに関すること/他者理解)

## (2) 小単元の目標

「権太坂のまちのよさを伝えるためには、かるたをたくさんの人に知ってもらう」という思いをもち、それをかなえることができるための方法を考えたり、実践してきた成果や課題を整理、分析したりすることを通して、かるたは様々な人が一緒に遊ぶことができる遊びであることを実感し、もっとかるたを通してまちの人や友だちと関わっていこうという意欲を高めることができる。

## (3) 研究主題との関わり

### 研究主題

「学びをつなぐ生活科・総合的な学習の時間」

<小単元における目指す子どもの姿とテーマに迫るための教師の手立て>

#### ○権太坂かるたをたくさんの人に広めたいと夢中になって考え続ける姿

・権太坂のまちや人、友だちと継続的にかかわり、思いや願いをつなげる場や活動を計画する

##### ①権太坂かるたのイベントや大会を計画する

権太坂のまちのよさや魅力を伝えるために権太坂かるたのイベントや大会を計画し、たくさんの人に楽しんでもらうことを通して、もっと人に楽しんでもらいたい、権太坂かるたを広めたいという思いや願いを伝えられるようにする。

##### ②人と出会う機会をつくる

かるたを作る際に境木商店街や権太坂のまちにあるお店を調べて、まちの人と思いや願いを聞くことでかるた作りにいかしてきた。よりよいかるたにするために、PTAや地域の方、学校に関わる人に出会わせ、その方たちの思いを知ることでもちのよさを改めて考えることができるようにする。

#### ○他者の考えのよさを見つけたり、つなげたりしながら、次の課題を見つけ出していく姿

・子どもの思いや考え、変容をみとり、よりよい活動につなげていく

##### ①学習カードを使用し、記録を残す

子どもの思いやつぶやきをできる限り拾いながら学習の展開をしていくようにするために、学習カードを使い、振り返りを残すようにし、子どもの思いを次の活動の前に教師側が意図的に発表したり、子どもが発表したりしながら問題を全体で共有できるようにする。

##### ②自分たちの活動を体験してもらい他者からの評価を活動に生かす

自分たちの活動を誰かに体験してもらえる機会を作り、常に相手意識をもたせながら活動を継続できるようにする。また、体験したあとには感想をインタビューしたりアンケートなどを準備したりして体験したあとの声を集約し、次の活動にいかすことができるようにする。

##### ③子どもの思考が見える構造的な板書

他者の考えと自分の考えを比較することで、それぞれの考えのよさを見つけたり、その考え同士をつなげたり、総合、関係付けたりするために板書のつくりを構造化する。子どもたちの話し合いの視点がどこにあるのかわかりやすく提示する。

##### ③座席表を作り授業にいかす

子どもの直前に考えを記録に残し、何人かの子どもをピックアップして子どもの変容をみとり、授業にいかす。

(4) 小単元構想図

子どもたちの活動と発言	教師の支援 (○)
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">権太坂かるたを広めよう</p> <p>○作ったかるたをゴントフェスタで、みんなに試して広めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表するグループとかるたを実施するグループを決めようよ。</li> <li>・自分たちでかるたを発表するための計画をたてよう、どうしたらよいかな。</li> <li>・アンケートなんかも作りたい。どんな感想をもつか知りたい。</li> <li>・かるた委員や説明委員を分けて活動しよう。</li> </ul> <p>○体験してもらった人の感想を整理して、成果と課題を分析し、次の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたを楽しんでくれたことが書いてあるよ。</li> <li>・楽しんでくれた人がおおいね。</li> <li>・絵が上手と書いている人もいるし、絵をもっと上手くした方がよいと書いている人もいるね。</li> <li>・かるたを読む人が気を付けることやかるたその物のアドバイスもあるね。</li> <li>・まちのよさが伝わったことが書いてあったよ。</li> <li>・同じ机の人と仲よくなれたって書いてあるね。</li> <li>・まちのよさは、どんなものかアンケートの結果から考えてみよう。</li> </ul> <p>○もっとまちのよさが伝わる文章はどんなものか、絵札をもっと上手にかくためにはどうしたらよいのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果から、まちのよさを確認して、自分たちの読み札を読み返してみるとわかるかもしれない。</li> <li>・絵は加藤先生に教えてもらおうとよいかも。</li> </ul> <p>○もっと権太坂かるたを広めるための方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で、大会やイベントを開いてたくさんの人にかるたをやってもらえればいいね。</li> <li>・大会を開いたら、かるたを読む人が直すところは気を付けられるよね。</li> <li>・お世話になった人や商店街の人に見せにいきたいね。</li> </ul> <p>○かるたに親んでもらうためのイベントを計画やかるた大会を開催する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かるた大会やお知らせのポスターや朝会で伝えたらいいかもしれないね。</li> <li>・クラスを回ってお知らせすればいいと思う。</li> </ul> <p>○かるた大会を開催する。(校内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人が体験してもらえるようにたくさん声をかけたいね。</li> <li>・笑顔で盛り上がっている人がたくさんいるよ。</li> </ul> <p>○かるた大会に来てくれた方の感想を整理して、成果と課題を分析し、次の活動の見通しをもつ。(本時)</p>	<p>○よりたくさんの人に遊んでもらえるための工夫を話し合う。</p> <p>○テーマなどを決めてそのテーマに向けて自分たちで考えられるように何度も話し合う。</p> <p>○集めた情報を整理、分析して自分が伝えたいことを整理できるようにする。</p> <p>○アンケートの結果や自分たちの振り返りを読んで、成果と課題をみんなで見つける。</p> <p>○まちのよさってどんなことだったのか、アンケートから読み取る。</p> <p>○アンケートをまとめたものを拡大して見やすくする。</p> <p>○まちの良さが伝わるためには、どんなことが必要なのか、自分の考えをグループで伝え合う。</p> <p>○図工の先生に聞くことができるようにしておく。</p> <p>○どんなことを伝えたいのか、困らないように、適宜掲示物を見るように声をかける。</p> <p>○作ったかるたは、自分たちや同じ学年の人達に実際に体験してもらえるようにする。</p> <p>○大会を広めるための方法を考えるために、ゴントフェスタで実際に見てきたことを振り返り、自分たちの活動に生かすことができるか考えさせる。</p> <p>○一人ひとりが活躍できるように役割を分担する。</p> <p>○成果と課題が見やすくなるように、構</p>



3. 本時の構想

(訂正版)

(1) 本時目標

かるたイベントを行って自分が気付いたことや感じたこと（自分の成長やお客さんの様子、かるたのよさ等）について伝え合うことを通して、相手意識をもってお客さんと関わることができるようになったり、かるたを行うことで人同士がつながったりすることできることを再確認することができる。また、これからの活動へ意欲を高めている。

(2) 本時展開

学習活動 (○) 予想される児童の反応 (・)	教師の手立て (・) 評価 (☆)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>かるたのイベントをふり返ってこれから何をするか考えよう</p> </div> <p>○かるたのイベントでの振り返りをおこなう。(イベント全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>かるた・イベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役わり分担して仕事ができた。</li> <li>・新しい仕事を見つけることができた。最後は入り口でたくさん声をかけて誘導した。</li> <li>・最後イベントが今までで一番お客さんが来てくれた。</li> <li>・盛り上がっていて、楽しそうだった。</li> <li>・マット引くことで、痛いという人もいなかった。</li> <li>・薄い字を濃く書いたから、かるたが取りやすくなったと思う。</li> <li>・みんな、楽しみながらまちのよさを知ることができていたと思う。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>お客さんの様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな笑顔でやっていたし、競い合っている人達も楽しんでいった。</li> <li>・楽しかったと言ってもらえたよ。</li> <li>・絵札を取ったときにはとても嬉しそうにしていたよ。</li> <li>・もう一回やりたいなどと言っていたから楽しんでもらえたと思う。</li> <li>・人が多い時と少ない時があった。特に高学年の人が来る人が少なかった。</li> <li>・高学年の人は、来てもらおうとアドバイスをしてくれてありがたかった。</li> <li>・みんなが笑顔でやっていたから、たくさんの人と楽しむことができていたと思う。</li> <li>・お客さんを呼びに言ったけれど、相手にしてくれなかった。高学年の人に来てほしい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>自分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で読めなかったけれど、かるたの読み札を大きな声で読めるようになった。</li> <li>・お客さんに声をかけられなかったけれど、少しずつ声をかけられるようになって嬉しかった。</li> <li>・かるたの説明や読み札の説明をたくさんすることができるよう</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を想起し、自分たちの活動からの気付いたことやかるたのよさを再確認できるように活動してきた写真や様子を掲示しておく。</li> <li>・これまでのかるた大会をふり返り具体的な場面を思い出させるように写真を用意したり、映像を準備したりする。</li> <li>・どのような声かけをしたのか皆の前で実演してもらえるように声をかける。</li> <li>・相手意識をもって関わることができるようになったことに気付くことができるような写真を準備する。</li> <li>・お客さんの様子について発言したときには「それを見てどう思った」などと問い返す。</li> <li>・自分たちの成長に気付いたり、かるたのよさを再確認したりできるように板書で整理したりする。</li> <li>・どんなかるたのイベントにした</li> </ul>

になった。

- ・「来てください。」と呼びに行くことができるようになってきた。
- ・絵札を取れなかったら、「次、がんばろう」などと声をかけると嬉しそうでした。

○これからの方向性を考える。

- ・お客さんは楽しむことができたから成功したと思う。
- ・もっとまちのよさを知ってほしいので、かるたのイベントを続けたい。
- ・高学年の人の参加が少なかったので、高学年の人にかるたをやって欲しい。

○学習をふり返る。

- ・かるたのイベントをくり返すことで、知らない人にも声をかけられるようになった。でも、まちのよさをわかってもらえたのかはわからない。
- ・お客さんが笑顔で楽しんでくれていたので、かるたをしながら仲が深まっていることがわかった。
- ・学校の人だけでなく、もっとまちの人にもかるたを体験してもらって楽しみながらまちのよさを知ってほしい。
- ・高学年の人たちにもっとかるたをやってほしい。
- ・どうにかして高学年の人が来てくれるような工夫を考えたい。
- ・かるたをやってもらい、みんながもっと仲良くなったら嬉しいな。
- ・もっとイベントを続けたい。
- ・しっかりと計画をしてもう一度、イベントをやりたい。
- ・校長先生に言いに行きたい。

いのか、どんな声かけをしていきたいのか試しの大会を見ている人に参加してやってみよう。

- ・子どもたちの振り返りを成果と課題の見直しをさせる。
- ・自分たちがかるたを通して伝えたいことは何か投げかけて、めあてを再確認させる。

☆自分が気付いたことや感じたことを伝え合いながら、自分の成長やかるたを通して人同士がつながっていくことを表現し、次の活動の意欲を高めている。

<イベントでの言動、記録学習カード>

### (3) 板書計画案

かるたのイベントをふり返ってこれから何をしていくのか考えよう。

	よかった点	問題点	かいぜんさく
かるたイベント	楽しみながら勉強できる	絵がわかりにくそうだった	もう少し絵をはっきりとかく
お客さん	え顔で楽しそうなかよくなっていた	一枚も取れなくて悲しそうだった	大きな声で楽しそうにリードする
自分	大きな声で話すことができた	はじめの言葉を大きな声で言えなかった	

よかったこと

元気よく大きな声でかるたが読めた！  
お客さんがえ顔！楽しさいっぱい！

かるたを直す 大きな声でかるたを読む もっと多くの人にやってもらおう

読みやすい  
絵がうまい  
おもしろい

え顔 楽しい  
よろこんだ

お客さんを  
楽しませた

もっとまちのよさを知ってほしい。  
え顔で、みんなに楽しんでほしい。  
イベントをつづけたい！

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>・地域のカルタという点で、町内だけでなく近隣の子どもたちが持ちよる工夫をした。また、持ちよるものは、考え、カルタにする時のポイントにした。さらに、持ちよる点について、学年、人や大人にもアンケートをしてもらい、データを集約して、持ちよる点について深堀りする工夫をした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>・カルタを作る際、①～④までの文字を割り振りせよに、子どもの思いで作らせた(例、カルタと選が隣に文字が同じになり、先達ほか場所のカルタを作らせた)して、カルタ作りと選がことに時間がかかった。しかし、一方で、じっくりと時間をかけて、Fさんへの意見も聞くことができた。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>カルタ作りは、とて、子どもたちの意欲が高かった。特に、持ちよる工夫をすることや、選がすること、カルタを通してFさんへの関心することや、選がすることや、子どもたちの意欲が継続したことに思、Fさん、物を作る大変さを知ることや、Fさんが作る物とFさんにしていることや、選がすることや、子どもたちが</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>カルタを全校の人に、行ってもらったので、担任だけでなく他のクラスの先生にも楽しんでもらい、アドバイスをもらった。カルタの質(絵や選がの点)が上がり、</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み(児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)</p> <p>・子どもたちは、自分で考えたり、選がすることや、他人に評価されることを楽しんで、他の学習意欲も高まっていると思う。今後は、自分で考え、探求して課題を解決していくこと、Fさんの役に立つこと、Fさんへの関心することや、選がすることや、子どもたちの意欲が継続することや、選がすることや、子どもたちが</p>